

## みんなで取り組むエコ・スクール活動

エコ・スクール活動に取り組んで14年目。学校ビオトープの活用においては、児童がアイデアを出し合っている活動に、家庭・地域と連携した学習活動を重ねることで、共に学べる環境学習を展開した。

### 1. 学校の概要

油日小学校は、滋賀県の南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月に完成した学校ビオトープも、今では木々が大きく育ち、カエル、メダカ、ドジョウ、ドンコ、タニシ、カワニナなど多くの生物が観察できる場になった。このような環境の中、本年度も、「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」を合言葉に、エコ・スクール活動に取り組んだ。

### 2. 活動の実際

#### (1) エコ委員会の取り組み

##### ア. ゴミゼロ作戦

子どもたちのゴミをなくしたいという思いを具現化する活動が「ごみゼロ作戦」である。毎年5月30日の「ごみゼロの日」にエコ委員会からの呼びかけで、この活動を計画してきた。

まず、事前の説明は、エコ委員会のメンバーが集団下校時の集会で行った。説明では、環境運動の4Rの説明を盛り込んだ創作劇「エコンジャー参上！」を披露し、暮らしの中のエコ活動についても働きかけた。



啓発劇「エコンジャー参上！」

当日は教室のゴミ箱に封をし、広告で作った紙袋を各自の机に下げて、その日の自分のゴミ

の全てを入れた。一日の終わりの学級活動で、どんなゴミがあったか、減らせるゴミはないかなどを話し合い、そのまとめを校内に掲示した。子どもたちが、無駄なゴミについて再認識する機会になった。

##### イ. ビオトープ便りの作成

エコ委員会が情報を集め、季節にちなんだ自然や生き物などの紹介を中心に作成した。児童昇降口の「エコ新聞」コーナーに掲示し、内容も子ども自身が興味のあるものとして、生き物紹介や開花情報、さらに果実の食べ頃情報など、写真やクイズを交えて紹介した。

##### ウ. ビオトープや地域の川に生息する魚紹介



ミニ水族館「ビオトープや校区の川の生き物」

3年前から1階の廊下に水槽を並べてビオトープの生き物を飼育展示していたが、今年は、魚に詳しいメンバーが自主的に地域に生息する川の生き物の水槽を新たに加えて世話をした。そして、水槽の下に、説明書を作って貼り、個体の紹介をした。また、マグネット版の校区地図の上に生息する魚の種を貼って分布図にし、魚を中心とする地域の自然の状態を紹介した。

##### エ. カブトムシの飼育活動

昨年度にビオトープに放した成虫から生まれて育った幼虫50匹と、近所の方から貰い受けた幼虫50

匹の飼育に取り組んだ。エコ委員会では、成長の様子をビオトープ便りの中で紹介した。夏休みに入って羽化したため、希望を募り、たくさんの家庭で飼育・観察を継続してもらった。ビオトープが里山の生き物を幅広く育むことを知る良い機会となった。

### オ. ザリガニの駆除作業

エコ委員会では、ビオトープの池に地域固有の水草であるヒツジグサやガガブタを取り戻そうと水草の生育しやすい環境づくりを探ってきた。大量に発生しているザリガニが水草を食べてしまうことがわかったため、一昨年より本格駆除に乗り出した。毎朝わなをしかけてザリガニを捕まえるが、そのわなの中にはザリガニ以外のさまざまな生き物も捕獲され、子どもたちにとっては毎日楽しみながらの活動となった。

### カ. 秋の自然と遊ぼう会



オリジナル企画「ザリガニ・ドンコつり」

これは、10月下旬の昼休みに、エコ委員会が中心となりワークショップ形式で行う活動である。「葉っぱマンをさがせ!」では、木や草むらに隠れる「葉っぱマン」を見つけて、ネイチャークイズに答えながら楽しんだ。また「どんぐりごま作り」「葉っぱ合わせ」「ザリガニドンコつり」など子どもたちのアイデアにより、楽しいゲームが次々と考えられた。

### (2) 環境フェスティバル 10月12日(土)

この行事は、学校で取り組んでいる環境教育を、家庭や地域に広く紹介するために、全校をあげて行っている重要な活動である。

内容は学年ごとに、次の活動を行った。

- ・1年 アサガオのつるのリースづくり
- ・2年 ひっつきむしの絵、虫クイズラリー
- ・3年 池の生き物観察と飯盒炊さん(防災)

- ・4年 校庭の木ビンゴ、丸太切り体験
- ・5年 水中の微生物観察、ヨシ笛づくり
- ・6年 油日岳登山口の台風被害の観察

地元森林組合や水口こども森の学芸員など地域の方々からの幅広い協力が得られたことで専門的な指導も受けることができた。

### (3) エコ・スクール支援委員会の取り組み

環境フェスティバルを支えるもう一つの重要な組織が「エコ・スクール支援委員会」である。この組織はPTAの中の専門機関として位置づけられている。保護者でもある委員には、計画から運営まで、自分の興味関心を活かしながら関わっていただいた。

実施後の保護者アンケートでは、保護者自身参加してよかった、もっと一緒に体験したいという声が多く、この環境学習が親子で話題を共有できる機会になっていると感じる。中でも「ひっつきむしの絵」と「飯盒炊さん」のショップでは、支援委員自身がフリップを作成、活用してプレゼンを行った。実施後の総括会議では、委員から活動をよりよいものにしたいという展望が熱く語られ、環境教育の広がりとしてひとつのモデルになってきていると感じた。



保護者による「ひっつきむし」のプレゼン

### (4) ハナノキ学習やグリーンカーテン

生活科や総合的な時間「ハナノキ学習」でも3年の薬草博士など、ビオトープを中心として学習を展開している。また、夏場の節電対策として校舎南側にグリーンカーテンも栽培した。

学校名	甲賀市立油日小学校
住所	滋賀県甲賀市甲賀町上野1322
電話番号	0748-88-2079 FAX0748-88-8028
E-mail	koka30102032@city.koka.lg.jp